



6あき学第2609号
令和7年3月31日

東京都立あきる野学園校長
伴 光明

令和6年度東京都立あきる野学園学校経営報告

令和6年4月1日
校長 決定

令和6年度東京都立あきる野学園学校経営計画

I 目指す学校

児童・生徒が将来にわたって主体的で豊かな地域生活を送るための教育を行う学校

- 児童・生徒一人一人を大切にしている学校
- 可能性を伸ばす学校
- 専門性を発揮する学校
- 健康で安全に生活できる学校
- 家庭・地域社会から信頼される学校
- 教職員が主体的・意欲的に働く学校

基本姿勢

- ① かけがえのない児童・生徒の人権を尊重し、敬意と愛情をもって全力で指導にあたる
- ② 児童・生徒の自己肯定感を育むべく「ほめて育てる」を常に心がける
- ③ 暴力や暴言は職を否定するものであるからこれを行ってはならない

令和6年度は、学校経営計画の構成を見直し、第一面は目指す学校像と「基本姿勢」を掲げるものとした。

目指す学校の姿が実現することと、高い人権感覚を発揮することは表裏一体と捉え、長期休業中の研修において教職員の人権感覚を磨き、年3回の「ふれあい月間」での点検を経て児童・生徒の心の動きに敏感であろうと努めてきた。教員の人権感覚における保護者満足度は92%であった。これを100にする不断の努力が重要だと肝に銘じたい。

第二面の「中期的目標と方策」では4つの目標を掲げ、第三面以下の「今年度の取組目標と方策」もその4つの視点で述べるものとした。それが



PLANETの視点

- | | |
|--------------------|------------|
| 1 豊かな学び | 〈児童・生徒の視点〉 |
| 2 パートナーシップ・共に考える教育 | 〈保護者の視点〉 |
| 3 地域に貢献、地域で学ぶ | 〈地域の視点〉 |
| 4 いきいき働く | 〈教職員の視点〉 |

である。この4つの視点で事業を計画し、この4つの視点に適うものであれば年度途中でもできるだけ着手するように努めてきた。さらに、昨年度誕生した学校のマスコットキャラクターである「ふたばちゃん」とともに「分かって楽しい★あきる野学園」を学校全体のテーマとした。

分かって楽しい★あきる野学園

令和6年度 学校経営のテーマ



「分かる」ことは学校の基本的機能である。児童・生徒は学習を通して分かる喜びを味わい、学ぶ喜びを重ねて成長していく。その喜びを保護者と共感していく中で築かれる学校とのパートナーシップは子の生涯にわたる財産となる。その喜びを共有できる関係機関とのネットワークは「生涯を通じて一貫した支援」体制の源である。

オンデマンド配信型
実践報告会
新・あきる野プランの構築
 「何をいつどのようにどれくらい」学ぶかが分かる教育課程の改善
 配信期間 令和7年2月3日(月)～2月28日(金)

標準授業時数(年間)

- 学校教育法施行規則による
- 小学校の一単位時間は45分
- 35週(1学年は34週)で計画

教育課程とは
 教育課程に関する法令等に従い、
**教科等の目標を達成するように、
 授業時数との関連において**何を
 作成した教育計画のこと **どれくらい**

公立小の標準授業時数	1年	2年	3年	4年	5年	6年
国語	306	315	245	245	175	175
社会	-	-	70	90	100	105
算数	136	175	175	175	175	175
理科	-	-	90	105	105	105
生活	102	105	-	-	-	-
音楽	68	70	60	60	50	50
図画工作	68	70	60	60	50	50
家庭	-	-	-	-	60	55
体育	102	105	105	105	90	90
特別の教科 道徳	34	35	35	35	35	35
特別活動	34	35	35	35	35	35
総合的な 学習の時間	-	-	70	70	70	70
外国語活動	-	-	35	35	-	-
外国語	-	-	-	-	70	70
合計	850	910	980	1015	1015	1015

新★あきる野プラン

何を → 目標・内容
 いつ → 時期・順序
 どのように → 活動・手立て
 どれくらい → 授業時数

単元一覧・配列表

単元記録である「単元分かって楽しート」の作成を行い、(95 単元)単元の構想から時数配当、ICT活用の工夫、観点別評価などを一通り記録し、学校としてストックを作ることができた。スライドで作成した「楽しート」は作成者自らの手によって音声付きの動画に加工した。日々の実践と研究と、新しいスキルの習得を関連付けて効率的に実施することができた。

参加者の声

単元一覧・単元配列表、「期待する学習効果のチェックリスト」の作成など、カリキュラム・マネジメントを進めていくうえで有効であると感じた。

新あきる野プランの説明は初めて特別支援学校に関わる方にとって非常にわかりやすくコンパクトにまとめられているのかなと感じた

内容が充実しており、一つの公立学校がここまでされるとは感銘。

12年間の単元を計画することが教職員の働き方改革とも有機的に結び付いている

2 パートナシップ・共に考える教育
 3 地域に貢献、地域で学ぶ

東京都立あきる野学園
 0016670685

新着情報

- 2025年2月19日 「第7回研修会」について掲載しました
- 2025年2月17日 3月 各部門行事予定を掲載しました
- 2025年2月3日 オンデマンド配信型実践報告会限定配信ページを公開しました。
- 2025年1月23日 本校周辺図を更新しました。
- 2025年1月23日 「お迎えカード申請書」を掲載しました

新着情報一覧

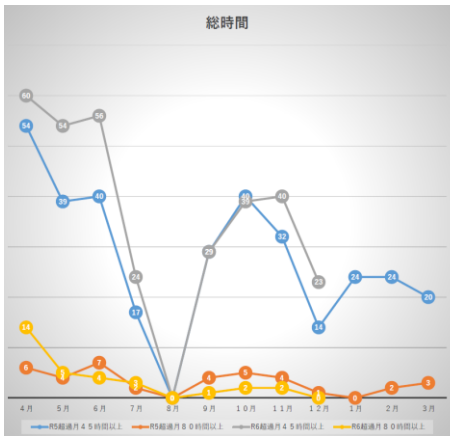
広報プロジェクト・チームを発足させ、PJリーダーを中心に、学校発の情報の質の向上を目指した結果、学校ホームページは月あたり3000件超のアクセスを得、関係者から好評をいただいている。

地域とともに学ぶ特別支援教育研修会は「やさしい日本語」をテーマに学校発の文書の改善に向けた検討を行った。学校からの通知、メール連絡等は端的に用件を伝えるようにしてきた。長年染みついた文化からの脱却途上である。

特別支援教育コーディネーターの派遣は十分に地域の依頼に応えきれずに申し訳ない結果となった。

隣接する企業や地域の事業者には、今年度も大変好意的なご協力をいただいた。

年度後半で新たに「大人の居場所プロジェクト」を立ち上げたことも保護者からは大きな期待が寄せられている。



超過勤務実態について

総時間
45時間以上は前年度比は増だが、前月から大幅に減。80時間以上は今年度8月を除いて初めて0を達成

4 いきいき働く 「学校における働き方改革の推進に向けた実行プログラム」が令和6年3月に策定されて迎えた今年度であった。昨年からの勤務実態をグラフ化して月例で示している。教員の意識は変わりつつあるが、絶対的な業務量の多さ、複雑さを解決していくことが必要である。教育課程論からの働き方改革を真摯に進める一方で、肥大化した個別指導計画関連の資料作成の効率化に取り組みたい。

特別支援教育推進計画（第二次）第二期実施計画に基づく増築工事は、校庭整備も含めてすべて完了した。この間の関係者のご尽力に深く感謝したい。そして長年の懸案であった校舎空調設備の改修が行われることとなった。引き続きのご支援とご理解を賜りたい。

重点目標と方策(数値目標)

「児童・生徒は楽しく学んでいるか」※1	90 ㊦	◎93 ㊦
「教職員は人権を尊重しているか」※2	100%	△97.6%
「教職員の暴力や暴言はあるか」	ゼロ	○ゼロ
先行する教科に加え、他教科(特に★音楽 ★職業・家庭)も単元一覧を作成	10月まで	○作成済
指導部指定研究として、上記に加え知的障害高等部の教育課程類型化検討成果を報告	2月まで	○報告済
「単元分かって楽しート」を作成 / 「楽しート」に観点別評価を記載	100件	△95件
カリマネ PJ 定例会で効果を確認し、PJ 主導による単元指導計画を改訂	10件	◎180件 ☆生活・☆社会・☆理科全単元を見直した
フォーマル/インフォーマルアセスメント、教科のチェックリストを活用 保護者アンケートで肯定的評価※3	85 ㊦	◎94 ㊦
担任がキャリア教育の視点で保護者と共有 保護者アンケートで肯定的評価※4	85 ㊦	△79 ㊦
地域とのかかわりの好事例を学校 HP で発信	12件	◎47件
英語検定をはじめとする諸検定の機会活用	実数追跡	英検 I B A : 3名 英語検定 : 4名 ESAT-J YEAR1/2 : 3名 漢字検定 : 延べ87名 日本語ワープロ検定 : 8名 文章入力スピード認定試験 : 11名
「あきスポ」「ふたば祭」の実施の他、特体連、都肢体連、障スポ大会、特文連、日肢協、地域文化活動に積極的参加	実数追跡	文化系応募作 313品 スポーツ系 39名参加
学校保健委員会/医ケア連絡会の活性化 保護者アンケートで肯定的評価 ※5	85 ㊦	○90 ㊦
食育実践授業の実施 全校への普及 校内参観者数	12名	○22名
月例の避難訓練の実施 宿泊防災訓練の実施	10回	○12回
教職員向け研修を実施 ふれあい月間年3回	体罰およびいじめ重大事案ゼロ	○重大事案ゼロ
増築棟での活動の様子を広報、アクセス通路の暫定開業から本格運用への適切に案内	事故件数ゼロ	○事故ゼロ
「単元分かって楽しート」に ICT 活用を記載する事例数	50件	◎74件

特色ある単元での積極的な参観呼びかけ	24 回	○26 回
交流教育連絡会の活性化 副籍好事例の情報発信機会を設定	7 月まで	○7 月特別支援教育推進 研修会と合同開催
GIGA/一人 1 台端末の家庭利用促進	80%	○夏季持ち帰り 85.9% 冬季持ち帰り 81.3%
学校ホームページ更新件数	100 回	◎ 241 回
アクセスカウンター定点観測	3 月 29 日昼 16633809	各月末に定点観測実施 ひと月平均約 3,400 アクセス
地域かかわりマップ カリマネ PJ 企画調整会議で集約	10 回更新	○10 回
学校公開参加者数（入学事前+地域一般） 特別支援教育研修会来校者数	100 名 50 名	◎ 2 回計 132 名 夏季研修会 52 名 オンデマンド実践報告会 205 名
見学、実習、作業学習での活用、小学部、中学部で の計画的な連携の開発	3 件新規連携	○新規 10 件
自治体、関係機関、都立学校等と連携、貢献する活動	2 件新規連携	○新規 4 件
学校危機管理計画の改訂	8 月まで	○改訂案完成
副校長、経営企画室長を核として工事進捗に応じた 校内進行管理	事故件数 ゼロ	○事故ゼロ、順調に施工
個別の支援計画のデジタル化の可能性の検討	10 月まで	○学運協で状況報告
校内ポータルへの再構築	8 月まで	○ 1 月実施（都システム更改時）
安全点検日にクリーンデスクを実行 〈職員室机/TAIMS 仮想端末〉	12 回	○12 回
単元一覧を活用し、自律経営推進予算、 学校徴集金（私費会計）に反映	12 月まで	○実施
新厨房での安全な調理、配食の開始、アクセス通路 と空調工事の円滑な運用	12 月まで	○空調工事開始
技を紹介しあう校内ツールの作成	6 月まで	○「匠の技」スタート
2 ヶ月連続で超勤 45 時間を超える者 終業後夜間電話切り替え、日没後完全消灯	ゼロ 18 時	×漸減傾向（4・5 月 4 8 名 →1・2 月 2 2 名）
自身のキャリアを展望し、ライフ・ワーク・バラン スを意識してよりよく生きる態度を実践する教職員 教員アンケート 肯定的評価	80 ㊦	◎ 85.5 ㊦
教員の動画プレゼンテーション技術の獲得	95%	△78.3%

※1 保護者アンケート：「児童生徒が楽しく学校に通っていると思うか」の項目における良い評価が 90 ㊦以上

※2 保護者アンケート：「教職員は人権を尊重した指導を行っているか」の項目における良い評価が 100%

※3 保護者アンケート：「教職員と外部専門員との連携のもと適切な指導が行われているか」「個別指導計画は分かりやすく適切な内容か」の項目における良い評価が 8 5 ㊦以上

※4 保護者アンケート：「キャリア教育の推進への取組は十分に行われているか」の項目における良い評価が 8 ㊦以上

※5 保護者アンケート：項目変更「感染症に対する取組は適切なされているか」の項目における良い評価が 8 5 ㊦以上